

## 平成26年度 経営協議会学外委員からの主な意見と本学の対応状況

経営協議会	学外委員からの意見	本学の対応状況
第1回 (平成26年4月22日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学として外国人留学生を増やす方針であれば、受入れに対して更なる努力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語によるホームページを作成している。</li> <li>東京、大阪及び東南アジアに向向いての大学PRと学生募集を行っている。平成27年度のタイでの海外留学フェアには富山県も参加し相互協力することとしている。</li> <li>留学生のための寄宿舎の整備等に取り組んでいる。平成26年度は、10月来日の短期留学生用に居室を確保した。</li> </ul>
第1回 (平成26年4月22日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学科の地域枠・特別枠入試の志願者を増やすためには、卒業後の臨床研修体制の充実について、富山県と一体となって取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校に対するアピールを今後積極的に行っていく。</li> <li>本学附属病院と富山県が一体となり医学生のキャリアパスを作成した。</li> </ul>
第1回 (平成26年4月22日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的な教育組織の在り方を検討していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学においても大学改革に積極的に取り組んでおり、理工系教育研究組織の再編を検討している。</li> </ul>
第2回 (平成26年6月24日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>他大学では、看護総合研究実践センターのような組織を設置し、附属病院と看護系学部・学科との連携を強化する取組みが予算を獲得しているので、検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の看護学の博士課程の設置要求にあたっては、附属病院の看護部長をはじめ病院関係者ととも設置計画を策定した。組織の設置は今後検討していく。</li> </ul>
第3回 (平成26年11月25日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果が運営費交付金の配分にどのように反映されるか、外部からみて不明瞭である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量経費や学長裁量ポストを拡充し、教育研究組織の見直し、大学改革に活用していく。</li> </ul>
第3回 (平成26年11月25日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期中期目標の素案については、今年度中に方向性を示した後、6月の経営協議会に付議してほしい。</li> <li>教員養成機能強化とは何をやろうとしているか、大学改革を行う上で何が問題になっているか、どのように基盤強化を進めていくかについて、次回の経営協議会で説明してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回経営協議会において、第3期中期目標期間に向けた富山大学改革プランの方向性について、説明した。</li> <li>①学内人的資源の再配置による教養教育改革、教育・研究・社会貢献の戦略的マネジメント体制の構築</li> <li>②ミッションの再定義を踏まえた人文・社会・特定分野の教育研究組織の見直し・整備</li> <li>③イノベーションを創出する人材養成基盤の整備(理工系教育研究組織の再編)</li> <li>④創薬・製薬・医療機器開発を担う人材育成基盤の強化、「知の東西融合」の推進</li> <li>⑤大学の戦略を機動的に実現する学内資源の再配分とガバナンス改革</li> </ul>